
これまでのメッセージ

日仏経済交流会 会長 関本 勸次

2007年5月25日

パリクラブ会員の皆さま

拝啓 初夏の候 皆さまご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、4月24日の第14回当会定時総会に際する役員改選の結果、第15・16期会長を再び私が承り、会長代行久米五郎太氏をはじめとする役員方とともに会務の実施と運営に当たることになりました。名誉会長と参与を含めた役員の役割分担については後記をご参照下さい。一同最善の努力を尽くすのはもとよりのことですが、皆さまの応援が不可欠なことは申すまでもありません。従来同様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



日仏修交・通商150周年記念の年である2008年には洞爺湖サミットが開かれサルコジ大統領の来日が確実視されます。これを翌年に控えた本年度は、日仏経済交流の拡大テンポにはずみをつける推進力が働いて来ようと思われます。年頭、ル・リデック大使は、修交・通商150周年記念の関連で、日仏の地域間交流と若者交流の促進に言及する声明を発表されました。当会は、2005年度に既に地域交流委員会を設け更に若手グループも発足させているだけに、経済社会委員会と文化委員会にこの両者を加えた当会表部隊の本年度の活動には、日仏修交・通商記念の色彩が強く期待されると思われます。これに向けた当会の対応は、日仏修交・通商記念を意識しつつも従来どおり地道な手法でイベントを積上げて行くことにつきます。ついては会員の皆さまにおかれても、この趣旨に即して、もろもろのアイデア提供にご尽力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

こうした表部隊の活動には、事務局を含む個別委員会における理事各位の活動の活発化、委員会主導の企画・運営、委員会間の相互連絡それに当会全体の方向づけを行う内部体制が不可欠です。そのため今般、理事の役割分担構造を重層化させ、新にディレクション会合を設けることにしました。この会合は、従来非公式ながらステアリングコミティーとして存在した正副会長会議の発展形態で、会則上は常任理事会として機能します。事務局では、既往のメンバーシップ委員会の機能を取込んで、名簿や年会費から個人情報と内部牽制にいたる管理を一括担当できる体制にしました。また、個別委員会の敏速な立案と行動を支援する体制の一環として所要資金を前渡し制の充実を図ります。情報の風通しの全般については、ウェブサイトとメルマガを主たるメディアとすることに変わりはありませんが、パソコンに馴染みの薄い向きへの連絡に工夫を凝らすことも依然大きな課題です。後回しになりましたが、活性化あるいは若返りのためにも新規会員の加入に力を注がねばなりません。皆さまに、これはと思う方をイベントに同伴され紹介して下さるなどのご尽力をお願いできれば、まことに幸いです。

当会の活動は、在日フランス商工会議所と協調して展開されることが優れて必要です。また、その円滑な実現を期す上は、フランス大使館、同経済部、それに日仏会館を始めとする提携団体とのおつき合いを深めていくことが欠かせません。会員の皆さまには、上記の機関に対するご交誼も併せ期待申し上げて、この挨拶の締めくくりといたします。